

# 平成17年度 事業報告

## I. 学園の状況

### 1. 設置する学校の主な動き

大学は、当期4月に大学院応用生物学研究科並びに応用生物学部に第3の学科として食品栄養科学科を開設しました。さらに、当期中に新学部－生命健康科学部－並びに大学院経営情報学研究科に経営学専攻修士課程の設置手続きを進め、それぞれ正式に認可、届出が受理され、18年4月開設し大学院4研究科、大学学部6学部21学科体制となりました。

研究面ではあらたに「直流超伝導送電システムの研究開発」と「植物の形・色・香を司る分子機構と分子育種の基盤的研究」の2件の研究が文部科学省から学術研究高度化推進事業として採択され発足しました。また、健康食品に関わる研究教育を目的とした寄附講座が開設されました。

教育面では情報教育のソフト・ハード両面の一層の環境整備を進めました。

高校では、第一高の校舎耐震第1期工事が完了し、引き続き2期工事に着手しました。春日丘高では国際コース1年次からの開設の準備を進め、18年4月に入学生を迎えました。

専門学校では、15年4月に開設した理学療法学科が完成年度となり第1回の卒業生を出しました。

### 2. 学園収支の概要

学園全体の学生・生徒在籍者数は12,094名（前年度比208名増加）となりました。

この結果、主たる収入となる学生生徒等納付金は12,790百万円（前年度比198百万円増加）となり、受験料などの手数料収入438百万円、国並びに愛知県からの補助金2,750百万円などを合計して帰属収入は17,180百万円（前年度比212百万円増加）となりました。

一方支出面は人件費9,238百万円、教育研究経費5,621百万円、管理経費1,698百万円などで合計16,774百万円（前年度比513百万円増加）となり、収入と支出の差額は406百万円となりました。

期中の施設・設備支出は8,258百万円、借入金により2,130百万円資金調達したことなどにより基本金組入額は6,003百万円となり、消費収支差額では5,597百万円の大幅な支出超過となりました。当期開設の応用生物学部の新学科並びに18年4月開設の新学部－生命健康科学部－関連の施設・設備支出が多額に上ったことが大幅な支出超過の要因ですが、早急に教育組織体制を固め経営基盤を強固に確立し、財政収支の均衡をはかる所存です。

### 3. 当期に行った主な事業

#### 〈 大 学 〉

##### ○教育組織体制の整備・充実

- ①応用生物学部に食品栄養科学科並びに大学院応用生物学研究科を開設した。
- ②生命健康科学部の設置申請を文部科学省に提出し認可された(18年4月に開設)。関連して看護実習センター、実験動物教育研究センター、アイソトープセンターの設置準備を進めた(いずれも18年4月設置)。
- ③経営情報学研究科に経営学専攻修士課程の設置の届出を文部科学省に提出し受理された(18年4月に開設)。

##### ○教育活動の整備・充実

- ①パソコン教育環境の充実のため、無線LANなどハード面の拡充・整備を進めた。
- ②Webを利用した学習・教育支援の一環とした新たな教育サポートシステムを構築した。(パソコンを利用して教員・学生間の双方向のコミュニケーションを推進し、修学指導、教育支援の充実をはかるもの)
- ③人文学部英語英米文化学科の全員留学制度が発足し対象学生全員が履修した。

##### ○研究活動の推進

- ①文部科学省の高度化推進事業に新たに2件申請し採択された。これに伴い先進技術連携研究センターと植物バイオ研究センターが発足した(期間5年・予算総額404百万円)。
- ②生物機能開発研究所に寄附講座が開設された。(寄附者は株エリナ、健康食品に関わる研究・教育を目的とし、期間5年・予算総額250百万円)
- ③その他研究資金の受け入れは次のとおりである。

奨学寄附金受入	76件	78百万円
受託研究受入	45件	142百万円
科学研究費受入	62件	126百万円

##### ○春日井キャンパスの環境整備

- ①学園各所に分散する主に教職員の駐車場を整備統合するため立体駐車場を新築した。
- ②各所アスベスト対策工事を実施した。

##### ○地域社会貢献活動の推進

- ①公開講座の開催 209回
- ②テクノフェアなどの開催による研究シーズの紹介 42回

#### 〈 高 校 〉

- ①中部大第一高校舎耐震第1期工事が終了した。
- ② " " 第二校舎のアスベスト対策を実施した。
- ③春日丘高40周年記念事業を行った。
- ④ " " 国際コースを1年次より設置の準備を進めた(18年4月開設)。

#### 〈 専 門 学 校 〉

- ・理学療法学科(開設後3年)が初めての修了者を出し、全員「理学療法士」国家試験を受験し合格した。

## II. 財務状況

### 1. 資金収支計算書

資金収支計算について、その主な内容をご報告します。

#### 資金収支計算書

(収入の部)

(単位:百万円)

科目	決算額	前年度決算額	増減
学生生徒等納付金収入	12,790	12,592	198
手数料収入	438	429	9
寄付金収入	199	124	75
補助金収入	2,750	2,494	256
資産運用収入	196	232	△ 36
資産売却収入	0	351	△ 351
事業収入	207	233	△ 26
雑収入	417	502	△ 85
借入金等収入	2,409	1,928	481
前受金収入	2,523	2,439	84
その他の収入	5,684	1,501	4,183
資金収入調整勘定	△ 3,203	△ 3,367	164
前年度繰越支払資金	4,648	4,010	638
収入の部合計	29,058	23,468	5,590

主に教育内容高度化推進に関わる特別補助金の増加です。

施設・設備関係支出の増加に対応するため借入金  
の増加により資金調達しました。

新学部の施設・設備関係  
支出に対応するための特  
定準備資産取り崩しによ  
るものです。

(支出の部)

(単位:百万円)

科目	決算額	前年度決算額	増減
人件費支出	9,322	9,003	319
教育研究経費支出	3,499	3,201	298
管理経費支出	1,458	1,548	△ 90
借入金等利息支出	155	132	23
借入金等返済支出	886	881	5
施設関係支出	6,229	3,329	2,900
設備関係支出	2,029	752	1,277
資産運用支出	1,529	321	1,208
その他の支出	1,181	511	670
資金支出調整勘定	△ 501	△ 858	357
次年度繰越支払資金	3,271	4,648	△ 1,377
支出の部合計	29,058	23,468	5,590

新学部開設に伴う教職員  
の増加によるものです。

主に応用生物学部新学科  
開設並びに人文学部の海  
外留学制度発足に伴うも  
のものです。

新学部開設に伴う建物等  
の増加によるものです。

新学部開設に伴う教育研  
究用機器備品等の増加  
によるものです。

主に有価証券購入による  
運用の増加です。

## 2. 消費収支計算書

消費収支計算について、その主な内容をご報告します。

### 消費収支計算書

(収入の部)		(単位:百万円)		
科 目	決 算 額	前年度決算額	増 減	
学生生徒等納付金	12,790	12,592	198	
手数料	438	429	9	
寄付金	242	320	△ 78	
補助金	2,750	2,494	256	
資産運用収入	196	232	△ 36	
資産売却差額	0	36	△ 36	
事業収入	207	233	△ 26	
雑収入	557	632	△ 75	
帰属収入合計	17,180	16,968	212	
基本金組入額合計	△ 6,003	△ 1,923	△ 4,080	
消費収入の部合計	11,177	15,045	△ 3,868	

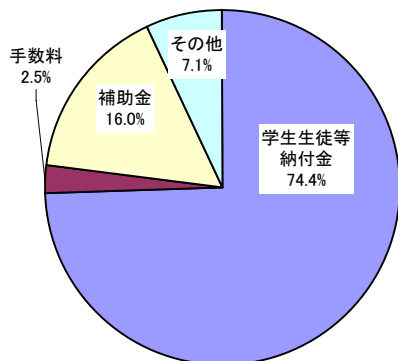
(支出の部)		(単位:百万円)		
科 目	決 算 額	前年度決算額	増 減	
人件費	9,238	8,981	257	
教育研究経費	5,621	5,264	357	
管理経費	1,698	1,792	△ 94	
借入金等利息	155	132	23	
資産処分差額	58	88	△ 30	
徴収不能引当金繰入額	4	4	0	
消費支出の部合計	16,774	16,261	513	
当年度消費支出超過額	5,597	1,216	4,381	
前年度繰越消費支出超過額	10,207	8,991	1,216	
翌年度繰越消費支出超過額	15,804	10,207	5,597	

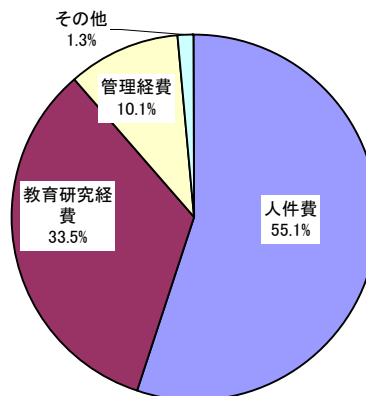
帰属収支差額	406	707	△ 301
--------	-----	-----	-------

帰属収入は前年度より212百万円増加しました。一方支出は人件費並びに教育研究経費の増加などに伴い前年度より513百万円増加しました。この結果帰属収支差額は前年度より301百万円減少となりました。

帰属収入の構成比率



消費支出の構成比率



### 3. 貸借対照表

貸借対照表について、その主な内容をご報告します。

#### 貸借対照表

(資産の部)

(単位:百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増減
固 定 資 産	57,049	54,487	2,562
有 形 固 定 資 産	46,427	40,410	6,017
そ の 他 の 固 定 資 産	10,622	14,077	△ 3,455
流 動 資 産	4,804	5,787	△ 983
計	61,853	60,274	1,579

主に新学部用の建物・機器備品の増加によるものです。

新学部創設資金として特定準備資産を取り崩しました。

主に現預金の減少です。

(負債の部・基本金の部・消費収支差額の部)

(単位:百万円)

科 目	本年度末	前年度末	増減
固 定 負 債	11,070	9,512	1,558
流 動 負 債	3,769	4,154	△ 385
負 債 の 部 合 計	14,839	13,666	1,173
基 本 金 の 部	62,818	56,815	6,003
消 費 収 支 差 額 の 部	△ 15,804	△ 10,207	△ 5,597
計	61,853	60,274	1,579

長期借入金の増加です。施設・設備関係支出の一部を借入金で調達しました。

主に一号基本金の増加です。「有形固定資産」の増加に見合うものです。

(単位:百万円)

純 資 産	47,014	46,608	406
-------	--------	--------	-----

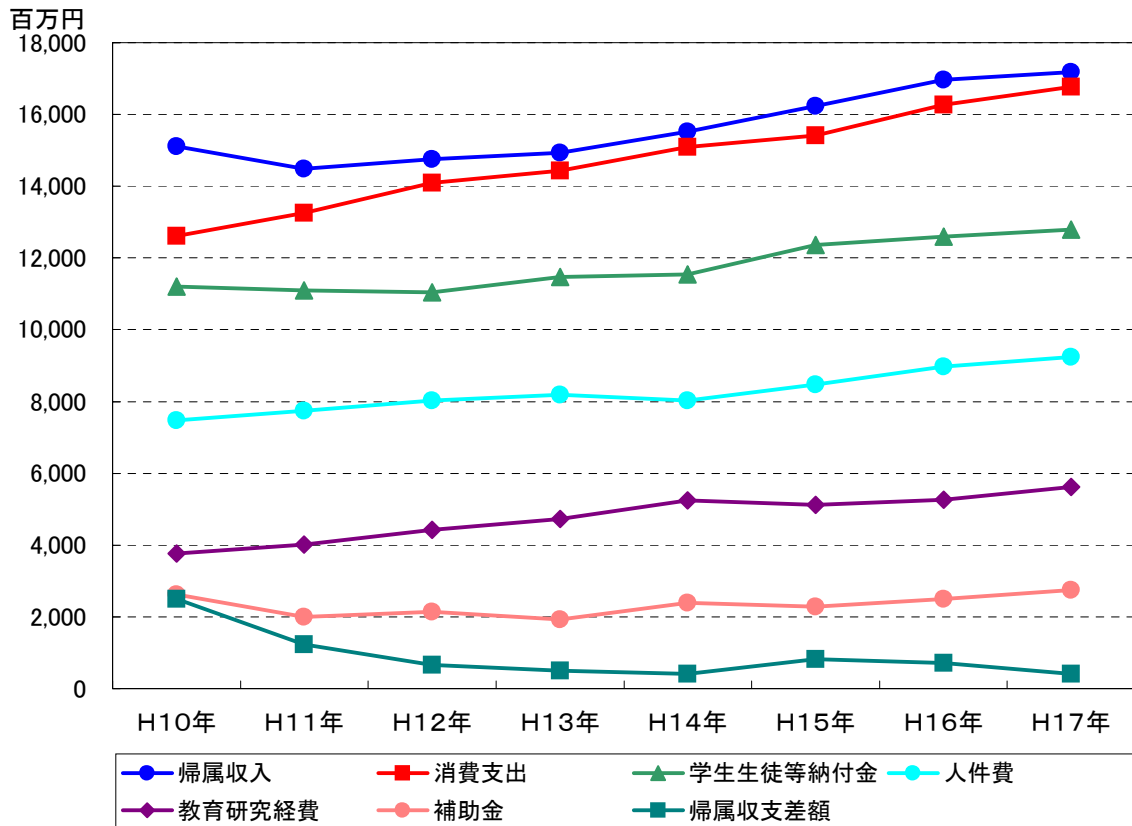
純資産＝資産－負債(＝基本金＋消費収支差額)

(単位:百万円)

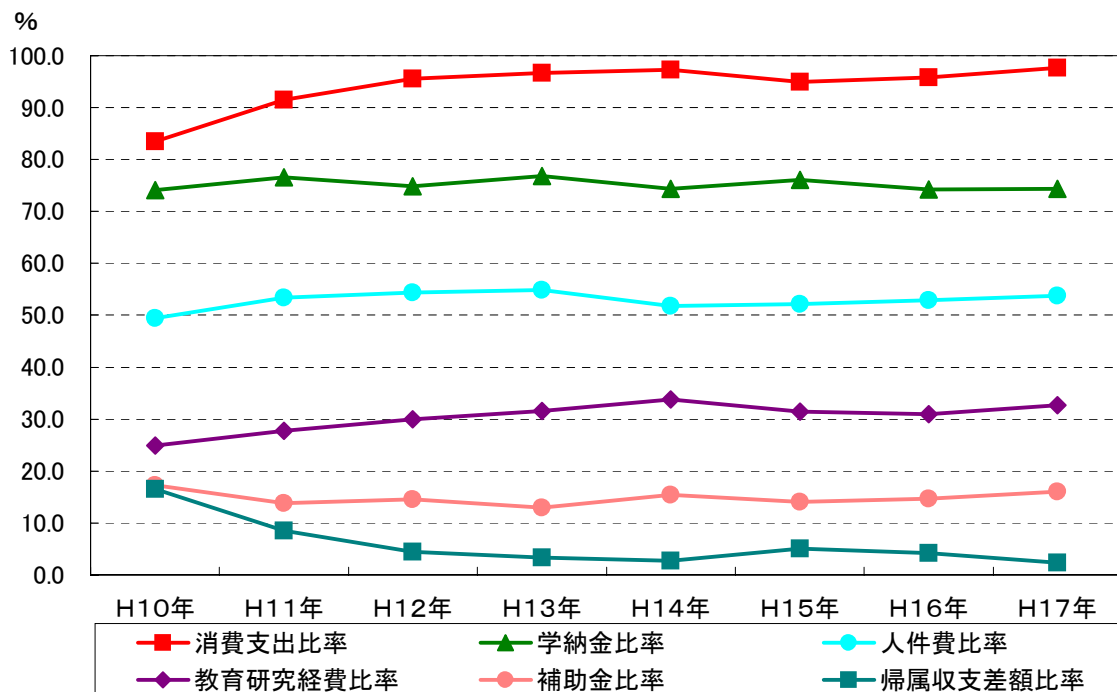
減 価 償 却 累 計 額	24,890	23,264	1,626
基 本 金 未 組 入 額	6,218	5,334	884

#### 4. 財務状況並びに学生・生徒数、教職員数の推移

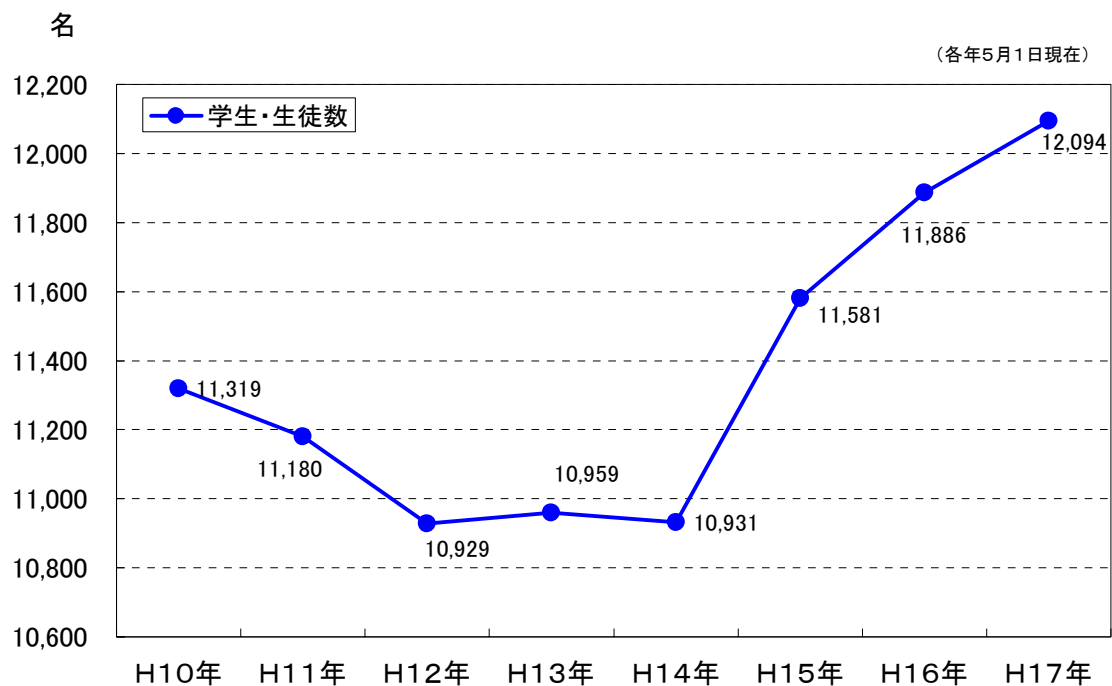
##### (1) 消費収支の推移



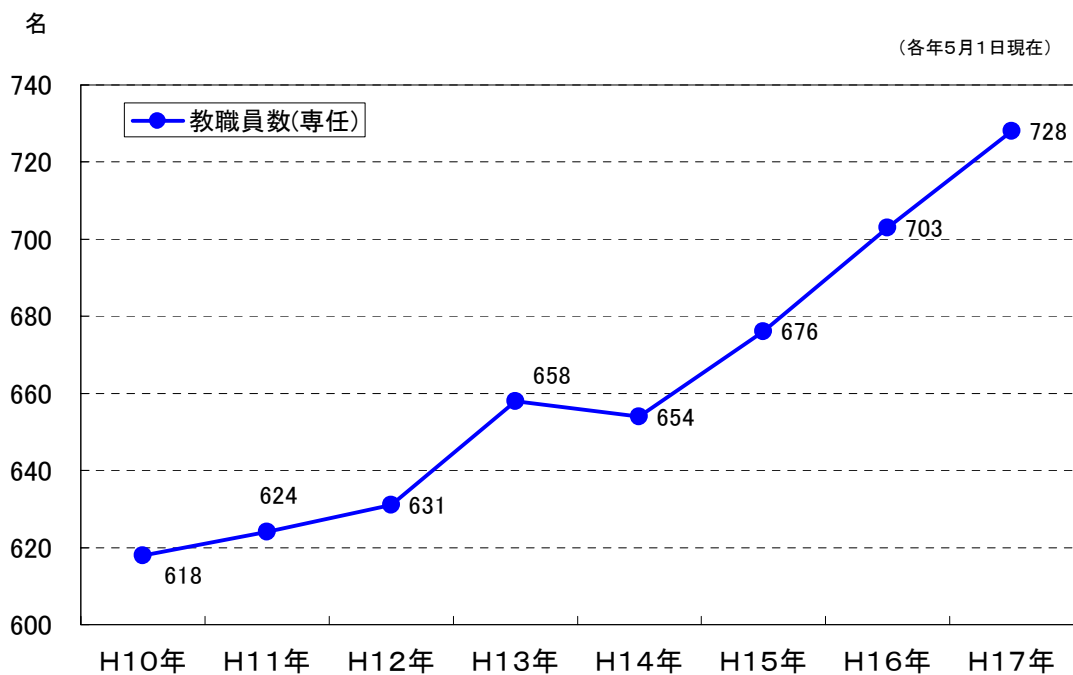
##### (2) 消費収支計算の財務比率の推移



### (3) 学生・生徒数の推移



### (4) 教職員数(専任)の推移



### Ⅲ. 法人の概要

#### 1. 設置する学校の現況

(単位:名)

学校名	平成17年度 入学定員	平成17年度 入学者数	平成17年度 収容定員	学 生 数 (17. 5. 1 現在)	学 生 数 (18. 5. 1 現在)
中 部 大 学	1,866	2,178	7,458	8,609	8,616
大 学 院	146	150	298	284	315
工 学 研 究 科	86	80	196	175	168
経営情報学研究科	18	16	39	27	37
国際関係学研究科	—	—	3	10	6
国際人間学研究科	18	17	36	35	41
応用生物学研究科	24	37	24	37	63
大 学	1,720	2,028	7,160	8,325	8,301
工 学 部	710	830	3,280	3,826	3,548
経営情報学部	220	284	950	1,204	1,158
国際関係学部	160	153	680	702	665
人 文 学 部	360	433	1,340	1,535	1,640
応 用 生 物 学 部	240	303	880	1,033	1,119
生命健康科学部	—	—	—	—	147
留 学 生 別 科	30	25	30	25	24
中部大学第一高等学校	430	355	1,290	1,115	1,002
春日丘高等学校	572	514	1,716	1,534	1,435
春日丘中学校	120	139	360	363	389
中部大学技術医療専門学校	290	179	660	473	417
合 計	3,278	3,365	11,484	12,094	11,859

(大学には3年次編入並びに大学院修士課程、博士課程を含む)

#### 2. 設置校所在地

学校名	所在地	電話番号
中 部 大 学	〒487-8501 愛知県春日井市松本町1200番地	(0568)51-1111
中部大学第一高等学校	〒470-0101 愛知県日進市三本木町細廻間425番地	(05617)3-8111
春日丘高等学校	〒487-8501 愛知県春日井市松本町1105番地	(0568)51-1131
春日丘中学校	〒487-8501 愛知県春日井市松本町1105番地	(0568)51-1115
中部大学技術医療専門学校	〒460-0012 名古屋市中区千代田五丁目14番22号	(052)251-8551

#### 3. 主な施設設備の現況

土 地	800,042.26 m <sup>2</sup>	3,719 百万円
建 物	214,003.71 m <sup>2</sup>	28,071 百万円
教育研究用機器備品	22,123 点	5,561 百万円
その他の機器備品	1,254 点	203 百万円
図 書	597,911 冊	4,616 百万円

(H18.3.31現在)

#### 4. 教職員(専任)の現況

区 分	H17. 5. 1現在	H18. 5. 1現在
大 学 教 員	340名	388名
高校・中学・専門学校教員	166名	171名
職 員	222名	232名
合 計	728名	791名